

2020年度3月修了・修士論文の提出資格・作成様式等

文学研究科

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、修士論文の作成・提出方法を変更します。

製本作業・提出に伴う外出や人との接触を避けるため、対面での提出を中止し、製本は行わずにデータ提出とします。

以下のルールに従って作成・提出してください。

データ提出に伴い、文学学術院事務所で表紙シールの配布は中止し、中表紙のテンプレートをWeb上に掲載します。

本注意事項および論文データ作成のためのチェックリストを確認のうえ、作成してください。

ただし、コースによっては独自の取り決めを設けている場合がありますので、必ず指導教員またはコース室に確認し、その指示にしたがってください。

1. 提出資格

- ① 所定単位取得済あるいは取得見込であること。
- ② 「修士論文計画書」および「修士論文題目届」を提出済であること。
- ③ 研究倫理教育を受講済であること。

2. 修士論文・修士論文概要書の作成について

- ① 提出データは1人1データとすること(見返し紙(白紙)は不要)。
- ② データ形式は「PDF」とする。修士論文はB5判またはA4判とし、図・表などを含む場合は同一データ内に収まるように工夫すること(どのような仕上がりにするかは指導教員に相談すること)。
- ③ 修士論文概要書(日本語以外の概要書には日本語訳を必ず添付)の分量は、所属コースの定めに従うこと。
- ④ Waseda Moodle上の非正規科目「2020年度修士論文」内のレポートボックスにデータを提出すること。ファイル名は「学籍番号_氏名_修士論文.pdf」(学籍番号は半角数字8桁、ハイフン以降は不要)とすること。ファイルサイズは、最大100MBまで受付可能。期間中は何度でも提出できるが、最後に登録した内容を最終的な提出物とする。

<修士論文・修士論文概要書作成様式>

順序: 1. 扉(修士論文概要書) 2. 本文(修士論文概要書) 3. 扉(修士論文) 4. 目次(修士論文) 5. 本文(修士論文)

体裁:横書の場合

扉(修士論文概要書)

2000年度 修士論文概要書	
指導教員	教授
題 目	
早稲田大学大学院文学研究科 人文科学専攻 ○○コース	
氏 名	

扉(修士論文)

2000年度 修 士 論 文	
指導教員	教授
題 目	
早稲田大学大学院文学研究科 人文科学専攻 ○○コース	
氏 名	

体裁:縦書の場合

扉(修士論文概要書)

氏 名	早稲田大学大学院文学研究科 人文科学専攻 ○○コース	題 目	指導教員	2000年度	修士論文概要書
			教授		

扉(修士論文)

氏 名	早稲田大学大学院文学研究科 人文科学専攻 ○○コース	題 目	指導教員	2000年度	修 士 論 文
			教授		

※提出時の注意事項

◆提出期間を厳守すること。提出期間を過ぎた場合には受理しない。提出は、締切間際ではなく、十分余裕をもって行うこと(なお、PC環境や通信ネットワーク混雑等の問題により提出できなかった場合も、本人責任となる)。

◆PCで作成する場合、機器故障やデータの破損、消失等による提出の遅延は一切認めない。

必ずバックアップ等の保全処置を講じておくこと。

◆提出は、作成者本人が行うこと

※最終試験(口述試験)に合格した修士論文については、図書館にデータ保存します。

※提出された修士論文の題目・学生氏名は文学研究科紀要に掲載します。また、各コースのウェブサイトにも掲載することがあります。不明な点は所属コース室にお問い合わせください。

以上